

# 岩手県広域サイクリングルートについて

---

令和6年7月

岩手県県土整備部 道路環境課



1. 要旨
  2. ルート名称
  3. 今後について
- 参考資料

- 県では、自転車を活用した観光振興等を促進するため、岩手県自転車活用推進計画に基づく「岩手県広域サイクリングルート」の検討を進め、令和6年3月にルート及びルート名称を決定したところです。
- 4つのルートで県内の全33市町村を通過し、県内各地の観光スポットを巡ることができるサイクリングルートとなっています。関係機関の皆様におかれましては、積極的な周知や取組みへの協力、整備への協力をお願いします。

岩手県広域サイクリングルートは、有識者や関係団体で構成する広域サイクリングルート検討会議やパブリック・コメント、関係機関等の意見を踏まえ、設定した。  
※ルートは【別紙】に記載

## 2.ルート名称

○ルート名称については、公募により募集し、広域サイクリングルート検討会議を経て、下表のとおり決定した。

### ■応募状況

募集期間 : 令和5年12月25日から令和6年1月24日まで1ヶ月間  
応募人数(延べ人数) : 155人、応募作品総数 : 462作品、年齢層 : 7~80歳  
応募者居住地 : 東北各県、東京・神奈川・大阪・福岡・宮崎・鹿児島・長崎など。

### ■ルート名称

ルート名称	ルートのテーマ
いわて三陸しおかぜルート	三陸沿岸の景色と海産物の宝庫を楽しみ、復興・伝承を学ぶルート
いわてイーハトーブルルート	美しいまち並みや文化を楽しみながら、水辺と名湯をめぐるルート
いわて歴史遺産探訪ルート	歴史文化を伝える世界遺産と四季の彩りをつなぐルート
いわて森の風ルート	酪農や広大な高原からの景色、歴史的な文化財を楽しむルート



図 ルート名称募集のリーフレット

### 3. 今後について

- 路面標示、案内看板等のルート整備を行うとともに、広域サイクリングルートの利活用を促進するため、三陸鉄道株式会社と連携しながら三陸鉄道活用区間の利用促進を図る。
- 県内の市町村と連携して、ルート周辺の観光スポット情報の充実や地域ルート設定等を行う。

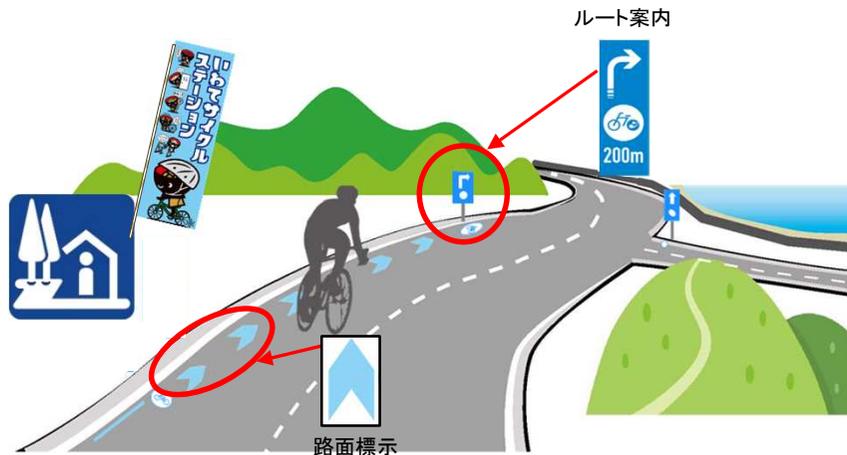
#### ■今後の予定

(令和6年度)

- ・令和6年4月～ 整備マニュアルに基づくルートの整備に必要な計画図面等の作成  
現地確認、テスト走行等の実施
- ・令和6年度後半～ 広域サイクリングルートの整備（路面標示、案内看板等）に着手予定

(令和7年度)

- ・令和7年度末まで 整備マニュアルに基づくルートの整備



出典：ナショナルサイクルルートの整備基準（国土交通省）に一部加筆

図 広域サイクリングルート 整備イメージ

図 路面標示の整備事例（盛岡市内）

## ■広域サイクリングルートについて

- 岩手県自転車活用推進計画（令和3年3月）
  - Ⅲ 観光振興 【目標】サイクルツーリズム等の推進による観光振興
  - 施策5 地域資源を生かしたサイクルツーリズムの推進
    - ・令和7年度までに4ルートを設定・整備
- 国のモデルルートへの登録を見据えた基幹ルート（市町村を跨ぐような骨格となるルート）として設定
  - ・国のモデルルートに登録されると国の専用サイトに掲載され、全国へのPRとなる。

表 国が示すルートの整備イメージ

	基幹ルート (国のモデルルート)	地域ルート
ルートの 特徴	市町村を跨ぐような骨格となるルート	(基幹ルート周辺の)地域の短距離のルート
コンセプト	空港や駅、大都市と目的地を結び、安全・安心に移動できる(案内や休憩施設等が整っている)	基幹ルートから離れているビューポイントなど、隠れた地域資源を楽しむ
設定主体	県	市町村等

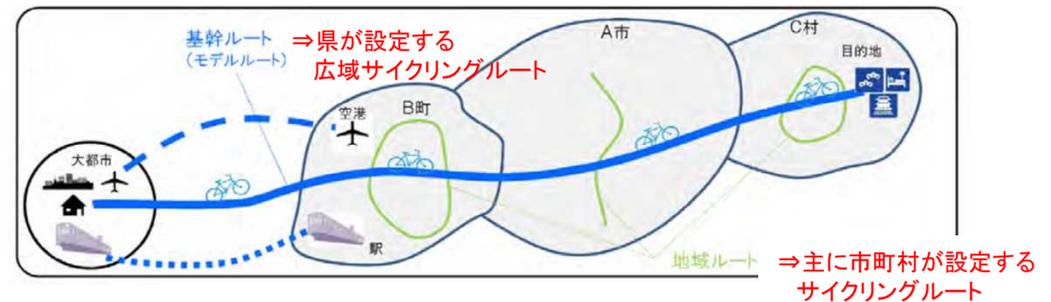


図 国が示すルートのイメージ図

## ■ルート設定の基本的な考え方

- ・ 主要な観光地を巡るルートとし、広域振興局をベースとする4つの基幹ルートを設定すること。
- ・ 4ルートで県内33市町村を全て通過し、市町村等が設定する地域ルートとの連携を図るルートであること。
- ・ サイクリングで県内の魅力を堪能できるように、各ルートのテーマとストーリーを設定し、各地域の特色や特徴を有したルートであること。